

米国穀物市況

2010/3/12 7:59
岡藤商事株式会社

	シカゴ市場						東京市場		
	限月	始値	高値	安値	終値	前日比	換算値	前日終値	換算値比
大豆	3月	956.00	956.00	924.75	925.50	-26.50	38,950 (先限)	39,500	-550
	5月	958.00	962.75	929.00	930.50	-27.50			
大豆ミール	3月	256.0	257.5	249.2	249.6	-9.1			
	5月	259.2	260.7	251.2	252.6	-6.6			
トウモロコシ	3月	356.75	357.75	351.75	355.50	0.00	20,940 (先限)	20,890	50
	5月	366.00	368.00	361.50	365.25	-0.25			

ドル円	現在値	東京終値
	90.67	90.38

【シカゴ大豆・大豆ミール】

11日のシカゴ大豆は急反落した。5月限は昨日の急伸に対する反動で値を消した後、950セントを維持して持ち直したが、中国の金融引締め懸念や週間輸出成約高がマイナスになったこと、南米の豊作観測がテクニカル要因による売りを誘い、1ヵ月振りの安値に急落した。

週間輸出成約高は、中国の大口キャンセルが響いて事前予想を下回った。米農務省が発表した3月4日までの大豆週間輸出成約高は11万5,800トンのマイナスで、来年度積みの6万5,100トンを加えても5万0,700トンのマイナスとなり、事前予想(20万~35万トン)を下回った。中国は19万2,400トンのキャンセル。

本日のファンドの手口は、推定7,000枚の売り越し。本日引け後のファンドの建玉は、推定1万枚の買い越しに縮小した。

【シカゴトウモロコシ】

11日のシカゴトウモロコシは小幅下落した。5月限は、買いが先行したが、期末在庫の上方修正や週間輸出成約高が予想を下回ったことから値を消した。ただし、前日の安値を下回っても下げ渋ったため、売りに対する警戒感が広がって下げ幅を縮小した。

米農務省が発表した3月4日までのトウモロコシ週間輸出成約高は33万8,600トンで、来年度積みの300トンを加えると33万8,900トンとなるが、事前予想(47.5万~95万トン)を下回った。

本日のファンドの手口は、推定2,000枚の売り越し。本日引け後のファンドの建玉は、9万枚の買い越しに縮小した。

[商品先物取引に係る留意点について]

2010年3月1日現在

商品取引員 日本商品先物取引協会会員

岡藤商事株式会社

・取引証拠金について

商品先物取引は委託に際して取引証拠金等の預託が必要になります。最初に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、2010年3月1日現在、最低取引単位（1枚）当り最高165,000円、最低18,000円です。ただし、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので、注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。

・手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なり、2010年3月1日現在、最低取引単位（1枚）当り最高9,135円、最低714円です（片道・消費税込・先限ベース）。

※ 取引証拠金・手数料については、銘柄・約定値段等によって変わりますので、この書類の作成日以降の額はその都度担当者へご確認ください。

・商品先物取引のレバレッジについて

商品先物取引による取引の額は、最初に預託する取引本証拠金の額に比べて著しく大きい額となります。具体的には、商品によっても異なりますが、2010年3月1日現在、取引本証拠金の額の約13倍から約32倍の額にもなります（先限ベース）。

・商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は相場の変動によって損失が生ずるおそれがあります。また、取引本証拠金の額に比べて何十倍もの金額の取引を行うため、その損失額は預託している取引証拠金等の額を上回ることがありえます。

◆ お取引に関するご相談は

① 当社お客様相談窓口：東京都中央区新川 2-12-16 TEL 03-3552-1203

② 日本商品先物取引協会相談センター本部：東京都中央区日本橋小網町 9 番 4 号

TEL 03-3664-6243

◆ 当社企業情報に関するディスクロージャー資料は当社の本・支店、日本商品先物取引協会の本部・支部および HP で閲覧できます。